



体験型 新入社員研修



社会性の実感を、 新入社員一人ひとりに

今、社員に育ててほしい力は何ですか？
 受身の講座や、仮想のテーマでのワークショップに
 満足していますか？
 荒川は、都市の自然と社会問題が共存する気づきと学びの場。
 河川敷でのクリーンエイド活動と、そこからみつけた課題を
 解決・提案につなげるワークショップを通じて、
 企業の社会的責任を考え、真の社会性を培うプログラムです。
 15年以上の実績を持つNPOと共に
 これからの社会を担う「人づくり」を実践しませんか？

主な対象 企業・団体における新入社員

1. チームワーク力の育成

グループでの協力作業を通じて、
 組織内あるいは組織を越えた
 コミュニケーション力や
 チームワーク力を養います。

2. 問題解決力の育成

クリーンエイド実習から課題を発見し
 課題解決・提案のプロセスを
 学ぶことを通して、企業活動
 に活かす力を養います。

4つの 目的

3. 環境意識の向上

ゴミの散乱状況を目にし、
 実際に拾う体験をすることで
 大量廃棄社会を実感し、循環型社会
 への意識を高め、行動へ導きます。

4. 社会性の向上

社会課題が表面化する
 河川敷で、社会貢献活動を
 身をもって体験し、社会における
 企業の果たす役割について考えます。

社会貢献活動

グループに分かれ、
 種類別にゴミを
 数えながら拾います



課題解決型研修

ゴミから社会問題を考え、
 企業と社会とのつながりや
 企業活動に活かす方策
 などを考えます。



社会性の育成

クリーンエイド実習(河川敷)

講義・ワークショップ(室内)

クリーンエイドとは、Clean(きれいな) + Aid(助ける)の造語です。単なる景観美化(クリーンアップ)にとどまらず、「自然を取り戻すことが目的であること」と「ゴミを数えながら拾っていること」が本活動の特色で、一般的な「ゴミ拾い」と異なる点です。